

□議員名：矢田 松夫

1 理科大学薬学部建設不祥事の責任は

論点	検証報告は、外部委員として弁護士が入り作成されたものなのか。
回答	大学推進室で概要の案を作り、諸事情を説明する中で弁護士の意見を伺った。

論点	これまでの不祥事について、「ほとんど法的にも問題があるので弁護士と相談する」と言われ続けてきたが、まとまったものを見せたことは矛盾するのではないか。
回答	最終的には大学推進室で作成したものを見せた。

論点	組織の長である市長自らが、表に出て正々堂々と議場で謝罪することがけじめのつけ方ではないのか。説明責任を果たすことが、検証報告を市民が認めたことになるのではないか。
回答	この一連の事件についてはできる限りの調査をした結果報告である。

論点	検証報告ではなく、最終責任者として調査した結果どうするのか。疑問や解明もできない。このことについてはどう答えるのか。
回答	検証報告の中でも、事実関係が全て明らかにできなかつたと結論付けている。

論点	薬学部建設工事が遅れた一番の諸悪の根源はどこにあるか。
回答	一大事業を一部の関係者だけで共有し進行させた。組織がぜい弱な中で進めて行ったことが大きな原因である。

論点	建設業法では工事の変更があった場合は、双方で記名調印しなさいとあるが、前市長の言葉の重さを取った。どちらが上なのか。
回答	どちらが上位ということではなく、建設業法に準じている。

論点	前市長の功罪について明らかにすべきではないか。
回答	最終的な責任は、前執行部にあったと報告書に述べている。

論点	汚水処理設備工事の入札、文書の毀棄について、物事が一気に悪いほうに転げ落ちるようになったが、ごく簡単に、入札に疑義があっただけで終わっている。
回答	入札の疑義とは別に公文書の不適切な取り扱いがあったが、今日まで疑義があったままで終わっている。今後は、刑事告発を行うとは考えていない。

2 ねたろう保育園記念植樹移植について

論点	特定の保育園から移植された意義と目的、計画性について回答を求める。
回答	高木で木陰ができる。夏にはセミ取りや抜け殻を見つけることができる教材になる。大きくなり過ぎない。根を張らない。樹勢が広がらないで桜の木を選定した。

論点	外構工事が終わるのが本年2月だが、急に3月2日から31日までの工事になっている。思いつきで計画性がない。保育園の建設は4年前に決定している。
回答	桜の木の移植は外構工事に含まれていないので、工事完了後と子供の安全を考えてこのような計画になった。意志の伝達手順に計画性がないと言われても仕方がない。改める点は改めていきたい。